

第1章 デジタル社債への取組みと個人向け社債の発行状況について

第2章 デジタル証券の定義とデジタル化への期待

第3章 課題として検討すべきことについて

第4章 デジタル化が投資にもたらす変化について

ST化の期待とメリット

ST化の期待とメリット	発行者	取引プラットフォーム	証券会社等(仲介者)	投資家
有価証券インフラとして安価・簡便性	間接的に○	◎	結果として○	—
小口化対応	◎	△(コスト増)	△(対応に負荷あり)	○
仲介者・管理者機能の代替	○	○	△(収益機会減か)	—(利便性向上か)
発行者による投資家情報の把握	◎	—	△	△(合意あれば○)

◎効果大、○一部に効果あり、△一部に負荷、—対象外

ST化の課題

決済基盤としての信頼性

- ・セキュリティ問題
 - ・プラットフォームへの信頼性
- 運営体制やセーフティネットも重要

販売チャネルの問題

証券会社や金融機関など取扱者の情報・知見の充実

個人投資家情報の取扱い

投資目的以外の利用に関する合意
投資家メリットの訴求

販売方法の確立

投資家への平易な説明
ネット販売での投資家需要把握方法の確立